

課題名

「周術期血糖コントロールの現状と課題」について

○研究の目的

高血糖状態は、術後合併症を引き起こすリスク因子であるため、周術期に血糖コントロールを行うことは重要とされています。

しかし、周術期血糖管理に関する薬剤管理指導についての報告はほとんどなされていません。そこで今回、周術期の血糖値と血糖管理方法の現状を調査することで、患者への周術期血糖管理の情報提供の必要性について検討を行います。

○研究の方法

平成26年4月1日から平成27年3月31日までに、広島大学病院で手術を施行された患者を対象とします。

本研究は全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は治療歴、手術内容、年齢、身長、体重などの身体情報、血液検査値（A1C）です。（個人が特定出来る情報は転記しません）

（研究期間 承認後～32年3月31日）

○個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせ下さい。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることは有りません。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 tel:082-257-5579

広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰（研究責任者）

薬剤師 上代 大地（研究担当者）